

令和6年度第2回田村市公共交通活性化協議会議事概要

日時	令和6年10月11日（金） 午前10時30分～11時30分
場所	田村市役所 301会議室
協議事項	(1) 地域間幹線系統の見直しについて
報告事項	(1) 自動運転バスの実証運行結果について (2) 磐越東線団体臨時列車の運行について
概 要	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 協議</p> <p>(1) 地域間幹線系統の見直しについて</p> <p>事務局より説明</p> <p>質疑応答</p> <p>(委 員)</p> <ul style="list-style-type: none">● 1日何人くらい乗車しているのか。最終的には福島交通が判断するのだと思うが、どのように考えているのかを聞きたい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none">● 船引線については1日4便運行している。10月2日に市で乗降調査をしたところ、市内では1便あたり1、2人程度の利用者であった。1日の利用者数が少ないことから、廃止の検討を進めているところである。 <p>(委 員)</p> <ul style="list-style-type: none">● 船引線については田村市内から利用される方が1便あたり1、2名という状況になっている。国県・自治体からの補助により運行している路線であるが、利用状況に応じた公共交通の提供というのが、公共交通ネットワークの再編ということに関しては非常に重要であると考えている。利用が少ない路線に関しては、廃止、撤廃を行いながら、利用者のニーズに合った公共交通ネットワークを引いていくというところで、船引線の廃止というところは致し方ないことと認識している。 <p>(委 員)</p> <ul style="list-style-type: none">● 本協議事項は決定事項ということで、問い合わせがあった際にはお伝えしてよいのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none">● 令和7年10月に再編を実施することで検討を進めているところである。本日は、この方向性で検討を進めていくことに関しお諮りし、今後県や関係自治体で合意形成が図られれば先に進んでいく段階となるため、現段階ではお知らせはしないでいただきたい。 <p>→異議なし。承認</p>
4 報告	<p>(1) 自動運転バス実証運行結果について</p> <p>質疑応答</p> <p>(委 員)</p> <ul style="list-style-type: none">● 利用者アンケートを見ると、ブレーキの改善に対する要望が多いが、具体的にはどういった現象か。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none">● 今回の車両はセンサーの感度が良く、急ブレーキに近い形で減速し、障害物を避けるような現象が見られたことが原因と思われる。

(委員)

- 時刻表を見ると子どもたちの通学には使えないと感じたが、利用対象として考えてはいないか。また、アンケートには否定的な意見もあるが、将来的に観光地等で走らせる考えはあるか。

(事務局)

- 昨年度実証において、船引高校生をターゲットに、朝7時、7時30分の便を運行したが、人数も多いので全員が乗れないことや運動のために徒歩で向かう生徒もいたことから、今回の実証においては、船引高校生を朝の便で乗せることは考慮していなかった。代わりに夜の便を増やし、帰宅時に利用していただくことを狙ったダイヤとした。
- 否定的な意見については、真摯に受け止め、中心部以外の観光地や色々な場面で自動運転が使える検証もしながら、実装に向けて検討をしまいたい。

(委員)

- 今回の実証においては、車両に乗車するオペレーターをタクシー事業者が担い、バス事業者が遠隔監視業務を担った。手動介入を要する部分があるので、まだオペレーターは必要だと実感した。交通事業者としては運転手不足解消のためにも導入していただき、それぞれの交通モードが役割分担をして交通ネットワークを組むことが理想と思っている。

(委員)

- 充電不足や豪雨で運休があったとのことで、約3.3キロという距離の運行でこういったことが起きているが改善はあるのか。また、実証運行の時期について夏季や冬季間の予定はあるのか。

(事務局)

- 充電不足については車両の性能であり、今回の実証はどういった車両が田村市にあったものなのかを検証するものであったが、今回の結果を踏まえると今年度使用した車両は適していないものと判断できるため、来年度以降田村市にあった車両を選定するように考えている。また、夏季や冬季間の実証については、昨年度は冬季間に実証運行を実施し、今年は夏季の実証としたところ。積雪時の運行については、北海道の上士幌町でレベル4運行を実装しており、昨年度使用したフランス製のアルマという車両を使っている。こういったことも踏まえ、検討を進めていきたい。

(委員)

- 運行経路は上り下りが多いが、雪道では滑ったりすることはないのか。

(事務局)

- 全国の実証結果を見ると、坂道の降雪時において圧雪であれば問題ないが、アイスバーンのようにになってしまうと運休としているような状況である。

(委員)

- 遠隔監視業務において、監視員1名とあるが、体調不良等となってしまった際のバックアップ体制はどのように考えているか。

(事務局)

- 今回の実証運行においては1名体制としていたが、実装時には1名ではなく数名で交換できるような体制をとれると考えている。

(委員)

- 高齢者の交通事故や免許証の自主返納が増えてきている。利便性、安全性を充実し、是非運行してほしい。

(事務局)

- 高齢者の方がバスに乗るという意識を高めていただき、乗らないけど走ってほしいではなく、必要だから走ってほしいというように意識を高められるよう、啓蒙活動も一緒に進めていきたい。

(委員)

- 高齢化により自治体としても公共交通を充実させていかなければならないが、交通事業者としては乗務員不足であり、公共交通ネットワークの維持が難しい状況になってきている。このような状況下において、自動運転の取組というのは非常に重要であると事業者としても感じているところ。非利用者アンケート結果を見ると、安全面も含め前向きな意見が見られることから、来年度以降も実装に向けて、事業者として出来ることはやっていきたいと考えている。

(委員)

- 左右周りのうち、右回りでは商業施設敷地内に乗りいれていないため、道路横断者が事故にあう危険性があるのではないかと。また、国道では専用ライン等を設けるなどの考えはあるか。

(事務局)

- 右回りの際に商業施設に右折で入る考えはあったが、通常の車両でも交通量が多く事故の危険性のある場所であることから、既存のバス停にて停車することとした。事故が無いのが第一であるが、利便性を考えると商業施設への乗り入れも重要であるため、車両の性能等の状況により検討してまいりたい。
- 道路の拡幅や専用ラインについて、国道は難しいと考えているが、市道においては改修の際に路肩を広くするなどの工夫をしていきたいと考えている。

(2) 磐越東線団体臨時列車の運行について

質疑応答

(委員)

- 来年度プレDC、再来年度ふくしまDCが開催される。このような企画を通じて磐越東線の魅力を発信し活性化を図っていききたいと考えている。

(委員)

- 小野新町駅は来年開業110周年を迎え、田村市においても船引駅、大越駅等が110周年を迎えるなど、記念であることに加え、デスティネーションキャンペーンが開催される。沿線自治体、住民と連携し事業展開をしていきたい。

5 その他

(委員)

- 1点目、前回の協議会において、都路小中学校が小規模特認校に指定されたことに係るスクールバスの運行について、教育委員会と検討していただくことになっていたがその結果がどうなったのか教えていただきたい。
- 2点目、船引町では自動運転バスを実証運行しているが、都路町内では買い物バスを週2回程度運行を予定しているということだが状況は。

(事務局)

- スクールバスの活用については、教育委員会で検討している状況であるため、現時点でお伝えできるものはない。
- 都路地域の交通については、集落支援員が買い物ツアーの実施やアンケート調査等を実施し、日本版ライドシェアの実施に向けてその運行主体となる団体等を検討しているところ。来年度以降、実証運行等ができるように準備を進めているところ。

(委員)

- 都路診療所送迎バスは、診療所の送迎以外の用途には使えないということを知ったが、何を根拠に使うことが出来ないのか。どうすれば使うことが出来るのかを回答いただきたい。

(委員)

- 団体臨時列車について、市内商工会としても協力できる部分もあるので、次回以降ご連絡いただければありがたい。

(委員)

- 今回は田村市と協力のもと実施させていただいたが、市と共同で商工会等にもお声がけさせていただき、魅力の詰まった企画を設定していきたいと考えている。また、団体臨時列車の設定には時間がかかるため、スケジュール感も考慮し話をいただきたい。

(事務局)

- 市としても地域の方と実施したいところなので、商工会にも協力の依頼をさせていただく。

(委員)

- 小中学校の統合により、遠方から通学する学生の中には通学に不便がある状況の学生がいるため、スクールバスで改善していただきたい。今生活している子どもたちが活発に動ける生活環境を作っていただくことで、市の活性化につながると思うので、改善をお願いしたい。

(事務局)

- いただいた意見は教育委員会にも共有させていただく。

6 閉会